

SSH生徒研究発表会「プレゼンテーションと著作権」

① ねらい 自分の知っている知識や情報収集によって得た情報を、適切に整理してわかりやすく正確に伝えるための手法について学ぶ。また、他人が作成した著作物の引用方法について学ぶ。

② 実施概要 平成28年10月6日(木)

14:15~15:35

第一学年178名(場所:本校第一体育館)

栃木県総合教育センター研究調査部岩本善行先生にご講演頂きました。はじめに、△□○の形をした図形が棒に刺さったおでんのような図を、言葉で伝える実習を行いました。言葉だけで伝えることの難しさを体験し、視覚的な情報も組み合わせて伝えることで、相手により正確に情報を伝達できることを実感しました。また、「SS情報」の授業で扱っているプレゼンテーションの作成のための手法や、他人の著作物の引用方法等についてもご講演いただきました。



プレゼンテーションの組み立て方について、実際にスクリーン上に、情報が「伝わりやすいスライド」と「伝わりにくいスライド」を表示し比較することにより、簡潔な語句でまとめることの重要性、背景、文字色、文字のポイントの効果的な活用方法について解説して頂きました。また、アニメーションも使いすぎると逆効果であるということも理解しました。

著作権については、学校や家庭などの身近な所でありそのような著作権に関する〇×クイズを解きました。いずれも普段行う可能性のある行為ですが、著作権法に違反する行為なのか全く考えずに行っている可能性があります。最後に正解とその根拠を説明していただいたときには、予想と異なり意外な表情を見せる生徒もいました。普段あまり考えたことの無い著作権について考える、良いきっかけになりました。

③ 生徒感想

- ・効果的なプレゼンテーションがわかったので、SS情報の実習に生かしていきたい。
- ・プレゼンテーションをどのように作成すれば相手に伝わりやすいのかが良くわかった。
- ・著作権に関する正しい知識を身につけることができた。
- ・簡潔に短くまとめることが大切なのだと思った。

④ 成果と課題

今回の講演を通して、生徒は効果的なプレゼンテーションの方法と身近な著作権の例について学ぶことができ、実りの多い講演会となった。今後の研究発表に生かしたい。

地学研修

① ねらい 郷土の地史について学ぶとともに、観察、実験を通して地球科学全般に対する興味・関心を高める。

② 実施概要 10月22日(土)と10月30日(日)の2日間、

1年生希望者30名を対象に栃木県立博物館の柏村勇二先生(足高OB)ご指導の下、地学研修を行いました。

第一日目はバスに乗り、栃木県那須塩原市へ野外実習に出かけました。はじめに中塩原地域の要害公園付近の路頭を観察しました。ここは塩原湖成層と呼ばれる新生代第四紀(約30万年前)の湖に堆積した地層で、木の葉や昆虫、魚などの化石が含まれています。また、地層中には細かい白色層が何本も含まれており、これは珪藻が季節毎に堆積した物で地層の堆積した年月を知ることができます。また白色が挟まれずに分厚く堆積した部分には級化構造(粗い粒から細かい粒へと粒径が変化する構造)が見られ、数十年～数百年に一度の嵐などによって大きな流れができ、一度に堆積した部分であることを知りました。要害公園後は付近にある木の葉化石園を見学し、実際に岩石を割って化石を採集しました。木の葉化石園の地層は要害公園とほぼ同時代ですが、ちょうど川の流れ込む地点にあったため多量に化石が産出します。昼食後、再度バスで移動し、下戸倉沢付近にて化石を採集しました。こちらは新生代新第三紀(約1200万年前)の地層で貝の化石が多く含まれています。これらは塩原動物群と呼ばれており、冷たい海に生息していた種と考えられています。多くの二枚貝の他、エゾボラ等の化石も見つけることができました。



第二日目は柏村先生に加え、栃木県立博物館の有路先生をお迎えし、校内にて栃木県の地質や古生物学の基礎について講話をいただくとともに、一日目に採集した化石のクリーニング及び同定を行いました。クリーニングは、ハンマーやタガネ、細長い金属等、様々な道具を用いて化石を丁寧に整えました。同定は専門の図鑑・プリントを用いて行うとともに、両先生からもご助言を頂きました。



③ 生徒感想

- ・自分の生まれた場所にたくさんの化石があることに驚いた。
- ・地学について少し理解できたような気がします。
- ・化石や地質を観察することで過去の出来事がわかる。
- ・栃木県に海や大きな湖があったことが一番驚きだった。



④ 成果と課題

露頭観察や化石クリーニングを通して興味・関心や基本的な知識が高まったことが生徒アンケートから読み取れる。ただ、地学の授業を履修していないため、講義の場面ではついていけない場面も若干見られた。今後は事前学習の他に、事後学習に相当するような地学分野の講演会等の実施も考えていきたい。